

# 石油天然ガス田の探鉱・資産買収等事業に対する 出資金について

平成29年11月

経済産業省

# 1. 主な油ガス田の出資・債務保証案件の実績

- JOGMECは権益取得を行うプロジェクト会社に対して民間企業と共同で出資を行い、当該プロジェクト会社の株式を取得。
- 油ガス田の発見・開発が一定程度進み、プロジェクトに参画している民間企業がJOGMECに株式の売却を要請してくる場合や、JOGMEC自身が売却することが必要であると判断した場合に、株式の売却を行う。

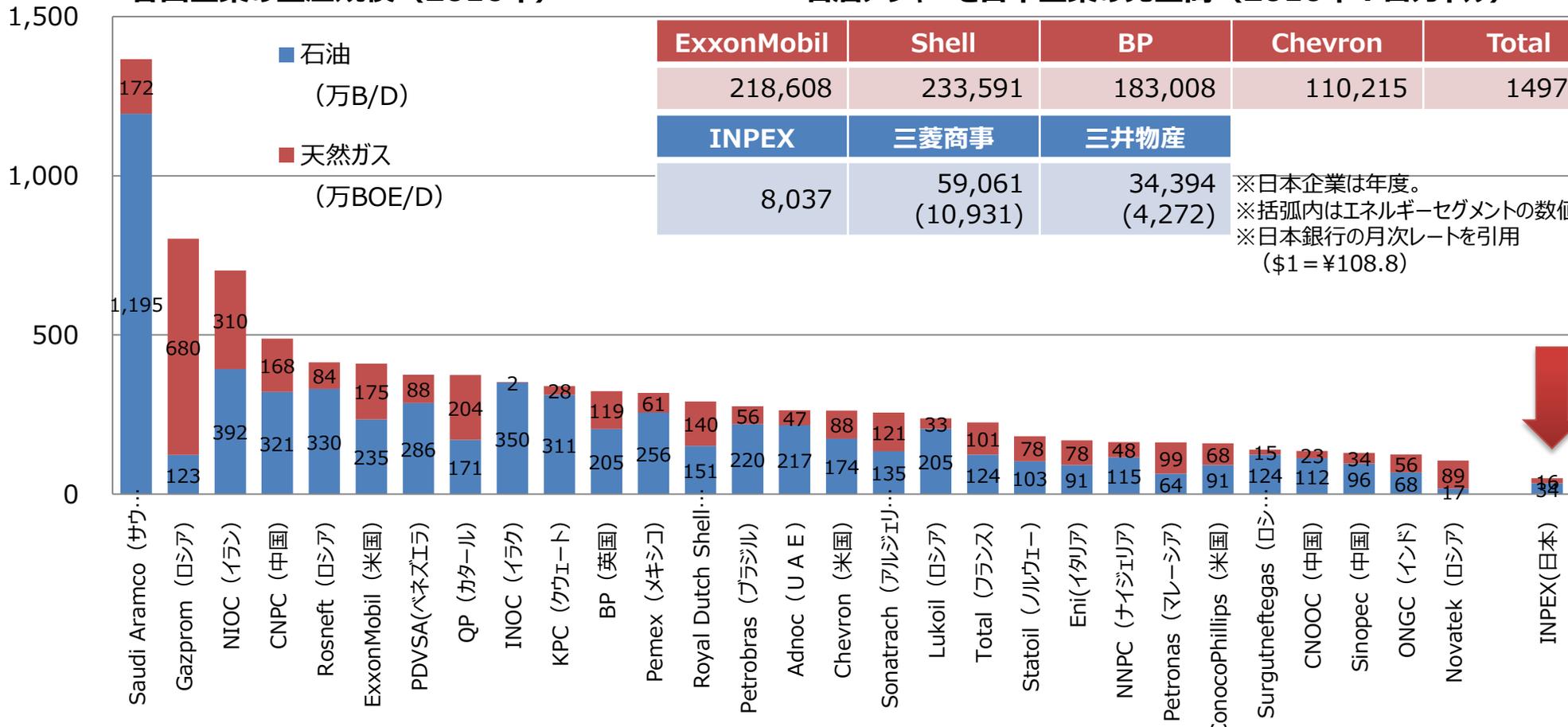
採択年度	出資/債務保証	案件	金額
H27	出資	アブダビ油田	674億円 (うち借入れ310億円)
H25	出資	北米シェールガス田	210億円
H24	出資	北米シェールガス田	402億円
H24	出資	北米シェールガス田	400億円
H22	出資	イラク油田	182億円
H24	債務保証	豪州ガス田	2,244億円
H20	債務保証	カザフスタン油田	2,209億円

金額は、平成28年度末における累積出資額、債務保証残高

## 2. 世界の石油・天然ガス開発企業の規模

- 世界的に見て、我が国石油・天然ガス開発企業の規模・競争力は脆弱。
- 石油・天然ガス開発は巨額かつハイリスク。国際競争力の確保には、**欧米石油メジャーに匹敵する企業規模**を持ち、我が国の自主開発比率を支える、**自律的な中核的企業**の存在が必要。

(万BOE/D) 各国企業の生産規模 (2016年)

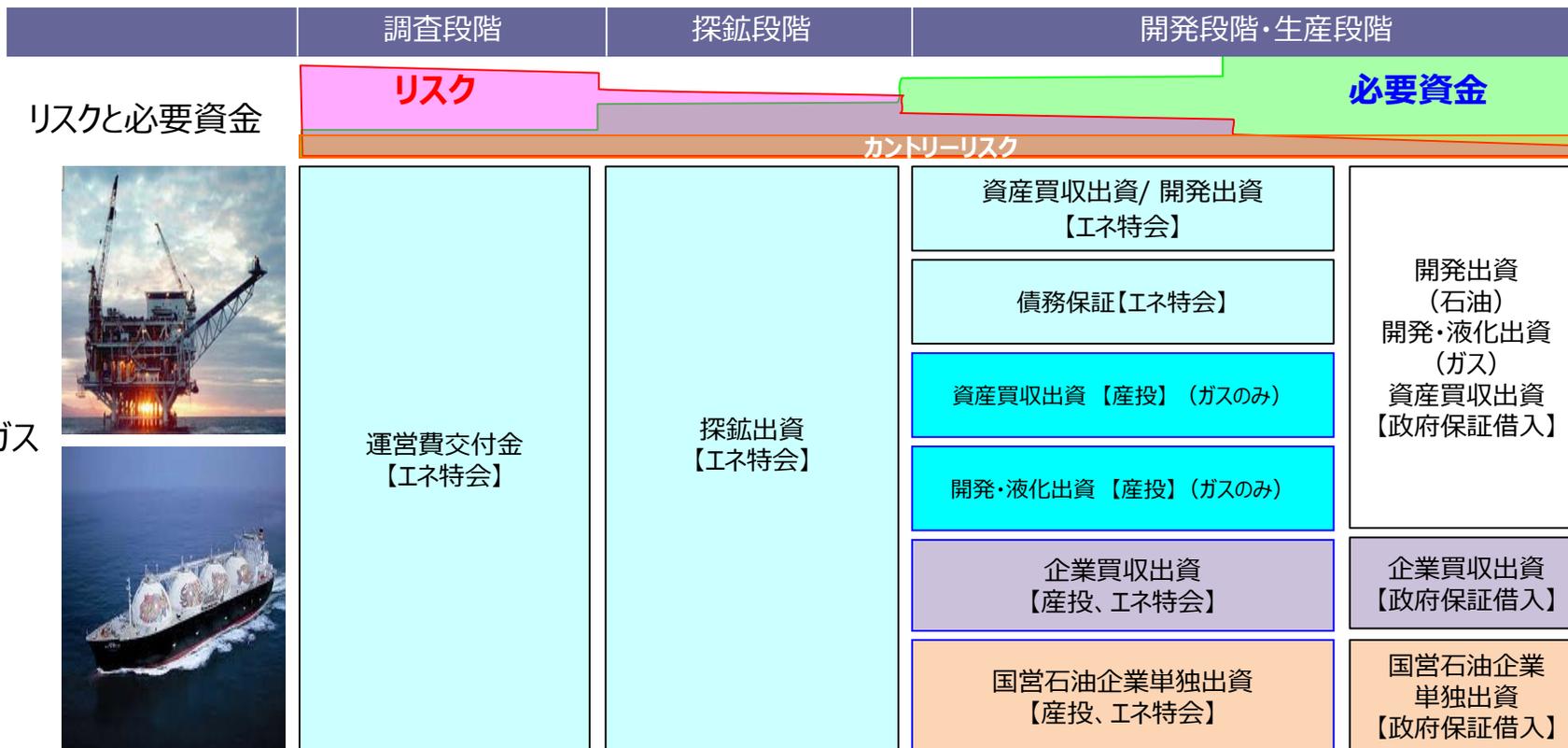


石油メジャーと日本企業の売上高 (2016年 : 百万ドル)

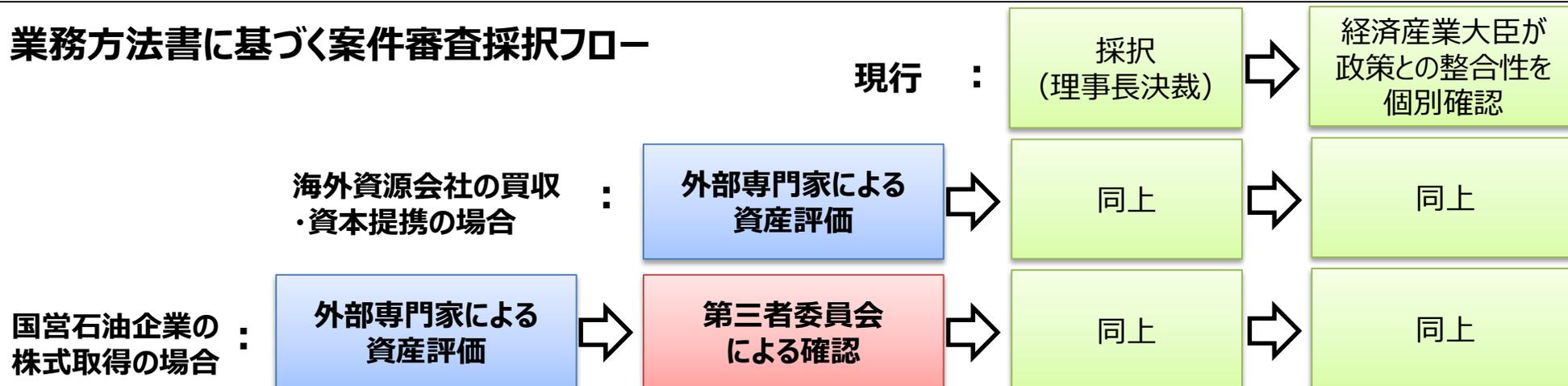
ExxonMobil	Shell	BP	Chevron	Total
218,608	233,591	183,008	110,215	149,743
INPEX	三菱商事	三井物産		
8,037	59,061 (10,931)	34,394 (4,272)		

※日本企業は年度。  
 ※括弧内はエネルギーセグメントの数値。  
 ※日本銀行の月次レートを引用  
 (\$1 = ¥108.8)

# 3. JOGMECのリスクマネー供給と案件審査体制



## 業務方法書に基づく案件審査採択フロー

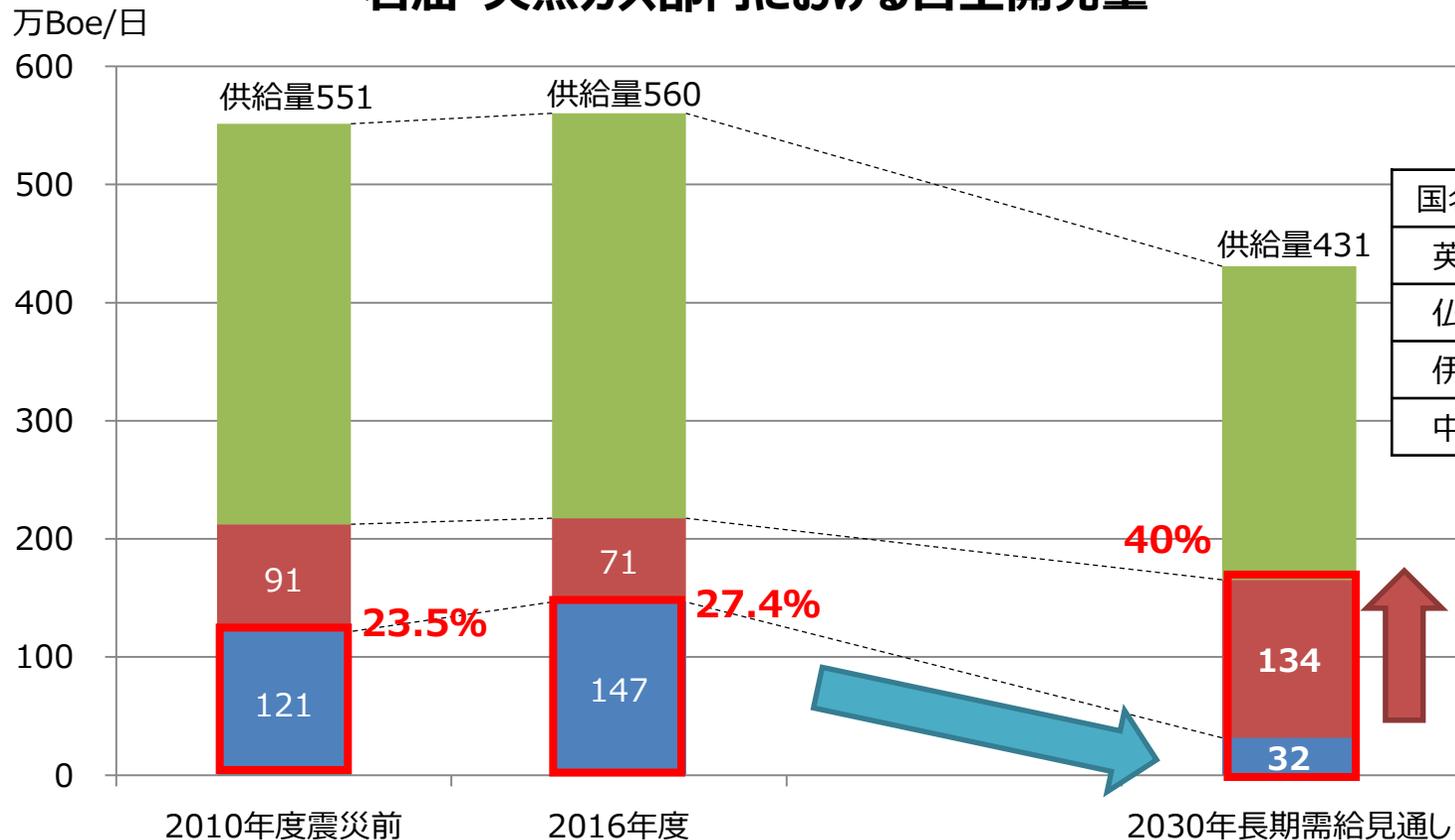


## 4. 自主開発の推進の必要性

- オイルショックを契機として、1970年代より我が国は石油の自主開発政策を推進。**自主開発比率※の向上**を政策目標に掲げている。
- 2009（平成21）年度以降は天然ガスも合算。**2030年に40%以上**とすることが目標。（2016（平成28年）度は27.4%）。

※自主開発比率 = (我が国企業の権益下にある石油・天然ガスの引取量 + 国産生産量) ÷ (石油・天然ガスの輸入量 + 国内生産量)

### 石油・天然ガス部門における自主開発量



### 主要各国の自主開発比率 (2015年※試算)

国名	比率	主要エネルギー企業
英	193.2%	BP、Shell など
仏	126.1%	Total など
伊	65.2%	Eni など
中	64.2%	CNPC、Sinopec、CNOOC

生産減退に伴い  
新たな石油・天然ガスの  
権益獲得が必要